

台風23号 但馬地方で猛威!

養父市にも深いつめ跡



片付けに追われる住民のみなさん (八鹿町宿南地区)

秋雨前線と台風23号で長時間の激しい風雨

今回の豪雨により、市内各地で浸水や地すべり、倒木などの被害が続出しました。

10月20日正午から21日午前0時までの12時間に八鹿町八鹿では208ミリ、藪崎199ミリ、大屋町明延164ミリ、奈良尾165ミリの雨量を観測。特に、20日午後3時から午後6時の間は、時間雨量が30ミを超える激しい雨が降り続けました。

養父市には20日午前11時に大雨・洪水警報が発令され、同日午後3時45分には水防指令第3号も発令。5分後の午後3時50分に災害対策本部(佐々木憲二本部長)を市役所内に設置し、養父市消防団と連携して台風への警戒と対策を図りました。

市内のいたる箇所ですぐに浸水や土砂崩れが発生し、電気や水道といった「ライフライン」が大きな被害を受け、最大4290世帯が停電、最大1808世帯が断水しました。また、道路にも被害が相次ぎ県道で17路線、市道で10路線が通行止めとなり住民生活に深刻な影響が出ました。

なお、養父市に、10月22日「災害救助法」が適用され、これにより避難所の供与や炊き出しなどによる食品の供給などの救助が受けられます。さらに、10月31日には「被災者生活再建支援法」が適用され、これにより住宅が全壊等で被害の大きかった世帯に支援金が支給されます。

市では、これらの国の制度のほか県の制度や市の独自の制度も最大限活用して、被災者の一日も早い復旧に取り組みます。



激しい雨で八木川が増水(20日夕方、市役所前)